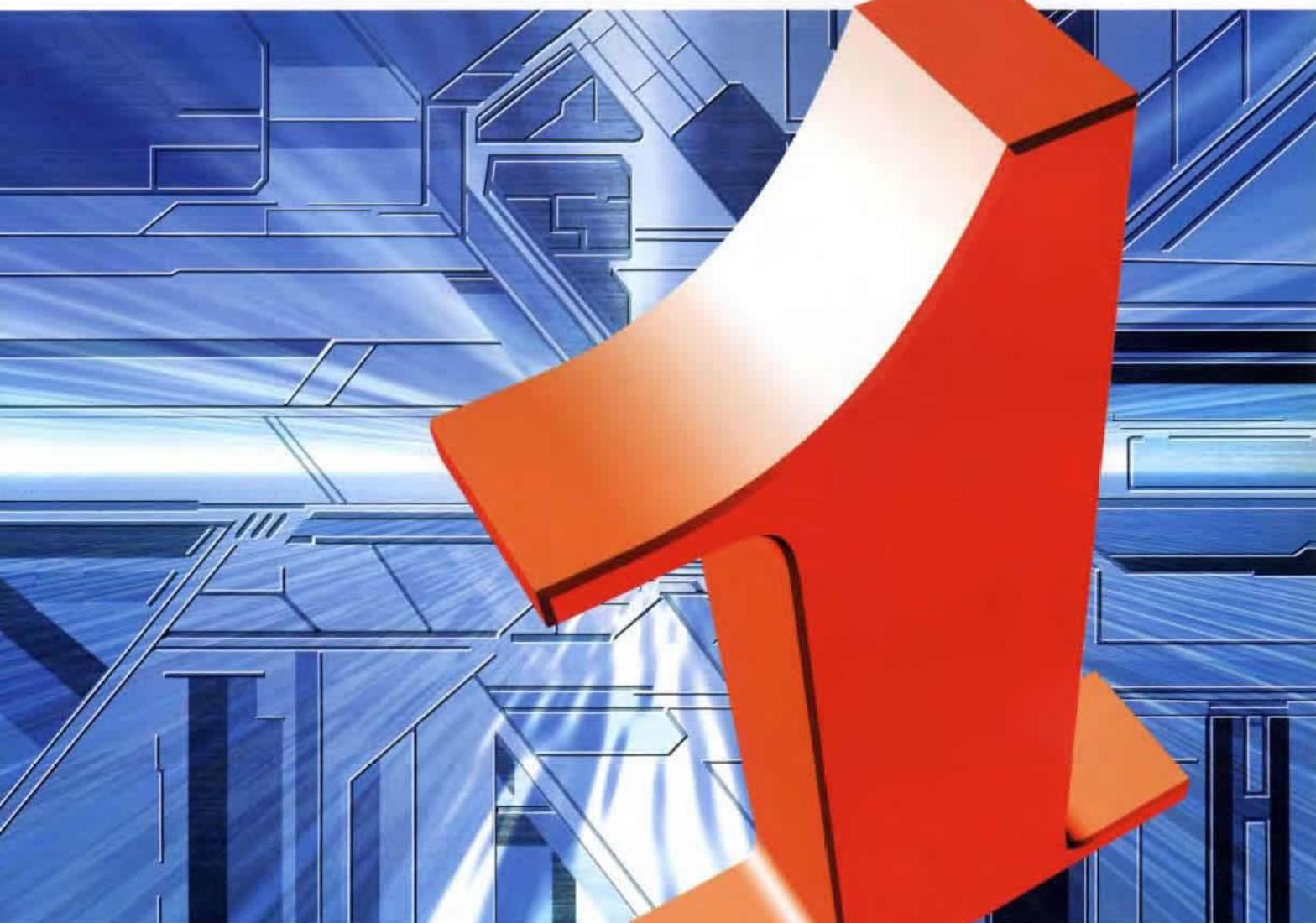


施工の省力化を図る

F★★★★適合商品

一液型屋根用ウレタン塗膜防水材

ボースユニボン



BOTH CO.,LTD.

一液タイプ保護用モルタル仕様

ボースユニボン

ウレタン樹脂と特殊アスファルトを組合せた新しいタイプの湿気硬化性樹脂「ユニボン」は、柔らかいゴム弾性を持った伸びの良い塗膜が得られる一液性防水材です。

用途

一般屋上・厨房・浴室・トイレ・ベランダ等でタイル仕上げまたは、モルタル金ゴテ押えを施す床

標準色 **ブラック**



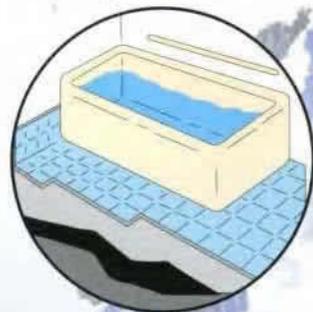
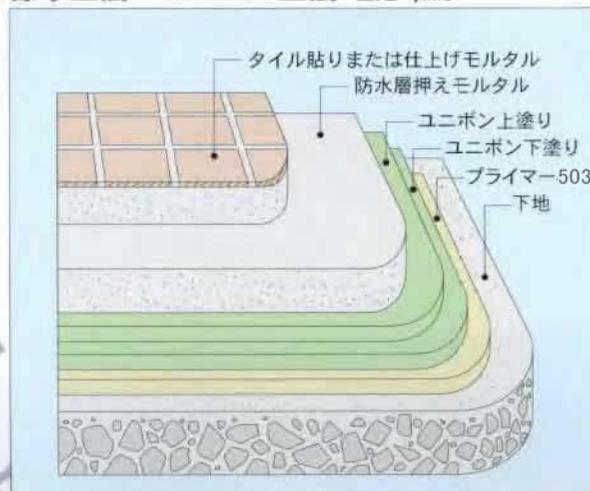
※容器変更の場合もあります。



荷姿

- 18kg缶入
- 6kg缶入(1ケース・2缶入)

標準工法 U-200工法 2.0^m/m厚



ボースユニボンの容量と標準施工面積

容量	荷姿	M ² 使用量(kg)	施工面積(m ²)	施工用具
18kg	石油缶入	施工厚み2 ^{mm} /mの場合2.0	9	ゴムベラ 金ゴテ
		施工厚み3 ^{mm} /mの場合3.0	6	
6kg	角缶2缶入	施工厚み2 ^{mm} /mの場合2.0	3	
		施工厚み3 ^{mm} /mの場合3.0	2	
16kg	プライマー503	0.2kg	80	ローラー・刷毛

施工上の注意

下地調整

モルタル・コンクリート下地の場合、乾燥は十分に行い、含水率8%以下で施工してください。

- 凹凸は、樹脂モルタル、サンダー等で平滑にする。水勾配は下地面で調整する。(水はけ勾配は1/50以上)
- 目地部は必ずバックアップ材を入れウレタンシーリング材を充填してください。
- ルーフドレイン、貫通パイプ回り等の金属部のサビや油脂分の付着は接着不良の原因となりますのでワイヤーブラシ等で十分サビを落とし、油脂分を溶剤でふき取ってください。

水はけ勾配

50

プライマー処理

ボースユニボン及びボースユニボンRは、プライマー処理が必要です。モルタル、コンクリート下地には、ボースプライマー503を刷毛またはローラー刷毛で塗り残しのないよう均一に塗布してください。

- プライマーには、下地の表面強度を増強させウレタン層の密着をよくするための重要な役割があります。吸込みの激しい下地の場合2回以上の塗布が必要です。
- プライマーが指触乾燥後に次の工程の施工をしてください。塗布後、降雨などにより長時間放置した場合は、プライマーの再塗布など適切な処置をしてください。



一液タイプ露出用カラー仕様

ボース ユニボンR



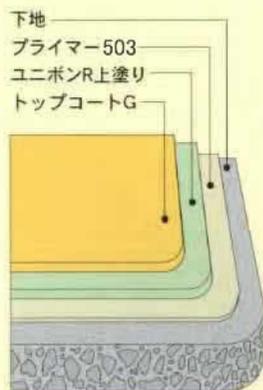
荷姿

- 18kg缶入
- 6kg缶入(1ケース・2缶入)

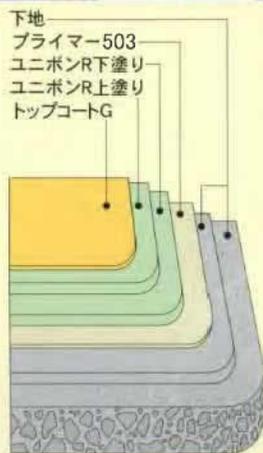
※容器変更の場合もあります。

標準工法

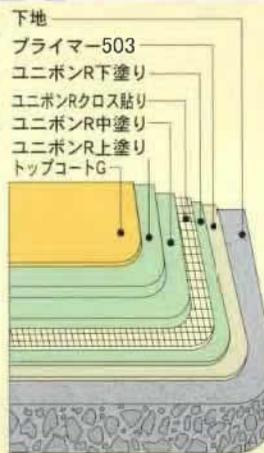
ユニボンRS工法 1.5^m/m厚



ユニボンRT工法 2.0^m/m厚



ユニボンRM工法 3.0^m/m厚



一液タイプカラーウレタン塗膜防水材「ユニボンR」は、ウレタン樹脂の優れた弾力性、亀裂に対する追従性を活かした露出防水用塗膜材です。トップコート処理で艶有り、艶消し、ノンスリップと施工場所に応じた仕上げが施せます。

用途

一般屋上、ベランダ、階段

標準色 グレー

ボースユニボンRの標準使用量

工程	ユニボンRS工法		ユニボンRT工法		ユニボンRM工法	
	材料名	使用量	材料名	使用量	材料名	使用量
1	プライマー503	0.2	プライマー503	0.2	プライマー503	0.2
2	ユニボンR	2.0	ユニボンR	1.4	ユニボンR	0.5
3	トップコートG	0.2	ユニボンR	1.4	クロス	
4			トップコートG	0.2	ユニボンR	2.0
5					ユニボンR	1.7
6					トップコートG	0.2

補強用ガラスクロス 1m×100m巻



防水層塗布

製品の保存期間は6ヵ月以内としていますが、期間が過ぎて表面に皮膜が張っている場合は、その皮膜を除去すれば使用可能です。ただし、内部全体がゲル化している場合は、使用できません。

- 容器を開缶し、沈殿している顔料を十分に攪拌してください。プライマー塗布面全体が指触乾燥状態か確認してから防水材を規定量ゴムベラ、金ゴテ等で均一に塗布してください。
- 開缶後の可使用時間は1時間です。ボースユニボン・ユニボンRはセルフレベルリング性がよいので多少の塗りムラがあっても美しい平面に仕上がります。手際よく時間内に作業を終わらせてください。

- ユニボン塗布後の硬化時間は夏季で1～2日、冬季で2～3日位です。アフタータック（べとつき）が残っている間に保護層を設けてください。アフタータックが無くなった時は、接着性を強化するため、ペースタックモルタルを塗り、くし目荒しを入れてから、押えモルタル（1:3配合）を15mm厚程度に塗工してください。仕上げモルタル（1:3配合）を15mm厚以上の厚さに均一に塗工すれば完成です。
- 施工後用具の洗浄
用具の洗浄は、トルエン、キシレン等で洗浄し保管してください。

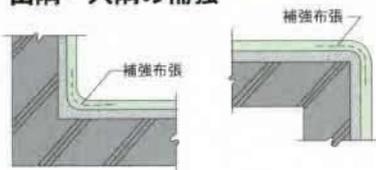


施工の省力化を図る 一液型屋根用ウレタン塗膜防水材

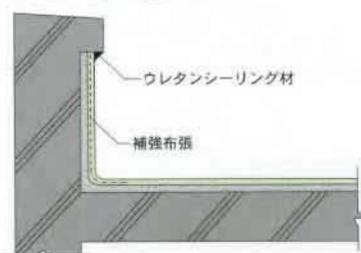
計量・混合の手間を省き
工期の短縮・コストの低減を実現。

従来のウレタン塗膜防水材は、主剤と硬化剤の二成分になっているため、使用の際の計量・攪拌ミスによるトラブルの発生が少なくありません。これらの問題を解決できるのが一液タイプウレタン防水材ボースユニボン・ユニボンRです。

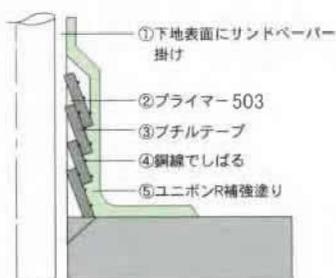
出隅・入隅の補強



立上り部の補強



ドレン廻り



使用上の注意

- ①次の条件では施工できません。ご注意ください。
- 施工後、降雨、降雪の見込まれる場合
 - 外気温度が5℃以下の時
 - 施工前に降雨、降雪があった時
 - 施工下地面の乾燥が不十分な時
- ②施工の際は、火気に充分ご注意ください。なお密室での施工の場合は換気を充分にし、施工してください。
- ③保管は、直射日光を避け、冷暗所又は通気性の良い場所へ保管してください。
※施工時には必ず商品ラベルやMSDS(製品安全データシート)をお読み下さい。
※製品の安定貯蔵期間は、購入後、およそ3ヶ月程度です。

■ユニボンの性状 (1シーズン性)

粘 度	5,000~50,000mPa·s/25℃
比 重	1.05/25℃
不揮発分	85~90%
可使時間	60min/25℃
指触乾燥	夏期 1~2d/20~40℃
	冬期 2~3d/5~20℃

■ユニボンの物性

項 目	摘 要	性 状
硬 度	JIS-A	21
引張強さ	N/mm ²	2.04
伸 び	%	1180
引裂強さ	N/mm	6.50

■ユニボンRの性状 (1シーズン性)

項 目	摘 要	性 状	備 考
色 調		グレー	常備色
粘 度	25℃ mPa·s	4500	
比 重		1.40	
固形分	%	95	

■ユニボンRの物性

項 目	摘 要	性 状
硬 度	JIS-A	55
引張強さ	N/mm ²	4.70
伸 び	%	640
引裂強さ	N/mm	17.64

B.C 株式会社 **ボース**

〒344-0056 埼玉県春日部市新方袋395番地 1
TEL.048-755-1905 FAX.048-755-1906